



年 組 名前

# 道新でワークシート

## 「中札内村えだ豆」商標に

【中札内】特許庁が地域の特産品やサービスに商標を与える「地域団体商標」に、村特産のえだ豆が「中札内村えだ豆」として登録されることが決まった。出願した中札内村農協は「ブランド力をさらに高めたい」と喜んでいる。登録は管内12件目で、村の名がついたのは道内で初めて。

(長谷川史子)

北海道経済産業局が7月31日に発表した。同農協によると、村の枝豆栽培は1981年に始まり、現在は村内400畝で年間約4千トンを生産。色と食味維持のため、収穫から3時間以内

に村内の加工場で瞬間冷凍し、全国の小売店のほか、オーストラリアなど六つの国・地域にも輸出している。今回は全ての畑で収穫前後2回の残留農薬検査を行うなど安心安全の取り組みも評価された。登録により海外からの模倣品の流入を防ぎ、便乗商法も予防でき

る。同農協の担当者は「選ばれる産地として積み重ねてきた努力が実りうれし

い。中札内という村の名前のPRにもつなげたい」と話す。

地域団体商標の道内登録件数は30件で、このうち4割を十勝管内が占める。管内ではほかに、十勝ナイタイ和牛（上士幌町農協）や十勝川温泉（十勝川温泉旅館協同組合）などが登録され、しほろ牛（士幌町農協）が現在出願中。

地域団体商標は、地域ブランド保護のため2006年に制定され、農協や商工会など地域に根ざした団体だけが出願することができる。



「中札内村えだ豆」の収穫風景Ⅱ2017年9月

### 管内12件目 ブランド化に弾み

十勝川西長いも	帯広市川西農協
大正メイクイン	帯広大正農協
大正長いも	帯広大正農協
大正だいこん	帯広大正農協
十勝川温泉	十勝川温泉旅館協同組合
めむろごぼう	芽室町農協
めむろメイクイン	芽室町農協
十勝和牛	ホクレン
十勝若牛	十勝清水町農協
いけだ牛	十勝池田町農協
十勝ナイタイ和牛	上士幌町農協

地域団体商標登録を受けた管内の地域ブランド（7月31日現在）

2018年8月3日朝刊帯広・十勝版（記事は再編集しています）

- ①写真にある「中札内村えだ豆」は、色と食味維持のために、収穫後どのように加工されていますか。
- ②2018年7月31日現在、「えだ豆」の他に十勝管内で地域団体商標登録を受けている農作物が4種類あります。表を見ながら、4種類の農作物を答えましょう。